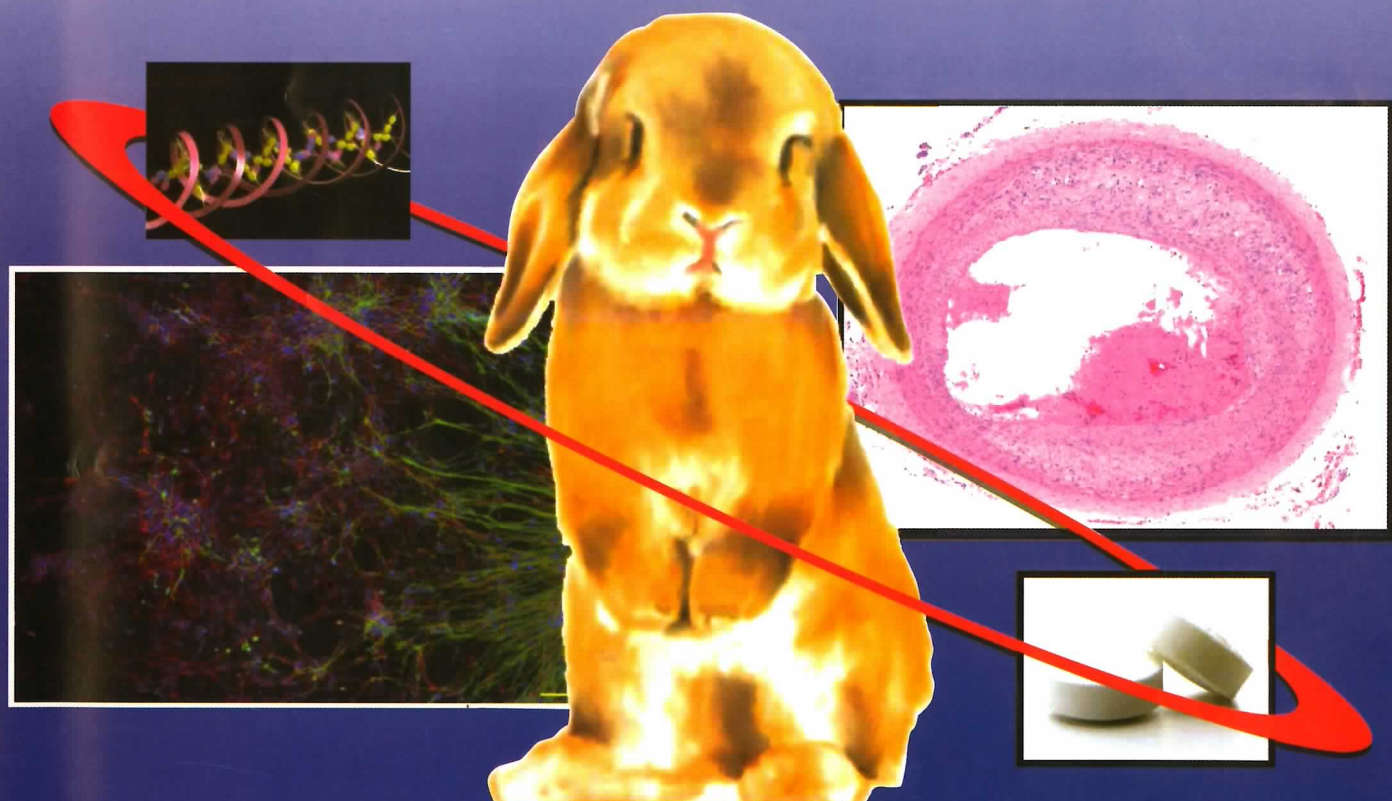


第1回 日中合同
ウサギバイオサイエンスフォーラム
第1回 ウサギバイオサイエンス研究会

講演要旨



大会長 浅田祐士郎 宮崎大学 医学部 病理学講座

大会事務局長 越本知大
研究会事務局 森本正敏

宮崎大学 FSRC 生物資源分野
熊本保健科学大学 保健科学部

2012 年 8 月 3 日～5 日 宮崎市松山 1-1-1 宮崎観光ホテル 紅の間 他

はじめに

第 1 回日中合同ウサギバイオサイエンスフォーラム・第 1 回ウサギバイオサイエンス研究会を平成 24 年 8 月 3 日(金)～5 日(日)に宮崎市で開催させていただきます。本研究会は、これまでウサギフォーラムとして平成 15 年に佐賀医科大学で第 1 回が開催され、その後平成 18 年山梨大学、平成 20 年神戸大学、平成 22 年秋田大学と 4 回開催されてきました。またこの間に、国際シンポジウムも筑波、ベルリン、西安、ハンガリーで開催されています。今回よりウサギバイオサイエンス研究会として新たなスタートとなります。また併せて初めての日中合同のフォーラムの開催となります。その第 1 回を宮崎で開催できますことを大変光栄に思います。

ウサギは、マウスやラットに比べて広い飼育スペースを必要とし、ゲノム情報や市販抗体等が少ないこと等から、実験動物として汎用されているとは言えません。しかし、脂質代謝系がヒトに近く、ヒトと類似した動脈硬化巣が発生することや、複雑な手術操作が行えること等の利点があります。最近ではゲノム解析も徐々に進み、ウサギの ES 細胞や iPS 細胞も樹立されています。これらの細胞維持に必要な因子や細胞コロニーの形態は、マウスやラット由来のものとは異なり、「ヒト型」の性質を示すことが明らかとなり、再生医療を目指したトランスレーショナルリサーチへの利用が期待されています。

そこで、本研究会では、特別講演 1 として、宮崎大学テニユアトラック推進機構・理研バイオリソースセンターの本多 新先生に「多能性幹細胞研究をウサギで展開して見えてきたもの」、特別講演 2 では、中国科学院広州生物医薬与健康研究院の頼 良学先生に「Generation of CETP Gene Knockout Rabbits Using Zinc Finger Nucleases」と題して、お二人の先生にウサギの幹細胞研究の最新情報について解り易くご解説いただきます。

宮崎には多くの史跡や青島・日南海岸をはじめとする観光スポットも数多くあります。また海の幸、山の幸も豊かです。暑い時期ではありますが、南国宮崎を大いに満喫していただければと思います。実り多い研究会になりますように、皆様の多数のご参加と、活発な discussion をお願い申し上げますお願い申し上げます。

なお、本研究会・フォーラムの開催にあたり、公益財団法人みやざき観光コンベンション協会からご支援を頂きました。ここにお礼申し上げます。

2012 年 8 月

大会長 浅田祐士郎

宮崎大学医学部 病理学講座

構造機能病態学分野

第 1 回 日中合同ウサギバイオサイエンスフォーラム

第 1 回 ウサギ バイオサイエンス 研究会

ご案内

○ 会 期: 2012 年 8 月 4 日(土) 10:00 ~ 18:00

○ 会 場: 宮崎観光ホテル東館 2 階 紅(くれない)の間

〒880-8512 宮崎県宮崎市松山 1-1-1 TEL0985-27-1212

○ 大会長: 浅田祐士郎 (宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野)

○ 大会事務局長: 越本知大 (宮崎大学フロンティア科学実験総合センター
生物資源分野)

○ 組 織: ウサギ バイオサイエンス 研究会

◎ 会 長: 範 江林(山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学講座)

◎ 事務局長: 森本正敏(熊本保健科学大学保健科学部)

●参加費等

◎研究会: 3,000 円

◎懇親会: 5,000 円

【参加者の方へ】

- ★ 受付で記帳のうえ、参加費等をお支払い頂き、講演要旨集とネームカードを受け取られたのち、ネームカードに記入して下さい。なお、ネームカードは大会終了時に回収いたしますので、ご協力御願い申し上げます。

【演者の方へ】

- ★ プレゼンテーション用に PowerPoint 2003 (Windows XP) を用意しています。MAC をご利用の場合はご持参ください。
- ★ 発表の 30 分前までにスライド受付に USB フラッシュメモリー、CD あるいはノートパソコンをお持ちください。PowerPoint のバージョンの違いにより、作成された図表がずれることがあります。動作確認をお願いします。
- ★ 一般講演は、発表 9 分＋質疑 3 分を予定しています。時間厳守をお願いします。時間が超過する場合には、途中で打ち切る場合もあります。

【会場アクセス】

宮崎観光ホテル 宮崎市松山 1-1-1 0985-27-1212

宮崎空港より 宮交バス 大淀大橋・橘通経由 宮崎駅行

”たまゆらの湯”下車(18分)+徒歩 5分

JR 宮崎駅より 宮交バス 多数路線 ”橘通1丁目”下車(5分)+徒歩 10分



会場(宮崎観光ホテル)全景と周辺地図

プログラム

9:15～ 受付

10:00 第1回 日中合同ウサギバイオサイエンスフォーラム 開会挨拶

10:05～12:05 (発表・質疑 英語、30分×4)

座長 頼 良学 (中国科学院)

塩見 雅志 (神戸大学)

1. Expression of PGC-1 α inhibited carotid artery restenosis and aortic atherosclerosis in transgenic rabbits.

王 宇輝 (北京大学 心血管研究所 遺伝子治療研究室)

2. Apolipoprotein A-II plays an important role in lipid metabolism

小池 智也 (神戸大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

3. The effects of probucol and cilostazol on aortic atherosclerosis of cholesterol-fed rabbits

劉 恩岐 (西安交通大学医学部 動脈硬化研究センター)

4. What determine arterial thrombus size on disrupted plaques?

山下 篤 (宮崎大学医学部 病理学構造機能病態学分野)

< 昼 食 >

13:30 第1回 ウサギバイオサイエンス研究会 開会挨拶

13:35～14:47 一般講演(発表9分・質疑3分)

13:35～14:11

座長 山下 篤 (宮崎大学)

1. 動脈硬化の質的診断のための酸化 LDL 結合性核医学分子イメージングプローブ
開発

天満 敬 (京都大学大学院薬学研究科 病態機能分析学分野)ら

2. WHHL-M ウサギにおける HDL を標的とした新規動脈硬化分子イメージング

川内 絵未 (福岡大学 医学部 心臓・血管内科学)ら

3. 急性冠症候群のモデル動物、WHHLMI ウサギ —冠動脈スパズムは、冠動脈病変の損傷、破綻を誘発する—

塩見 雅志 (神戸大学医学研究科 附属動物実験施設・
疾患モデル動物病態生理学)ら

14:11~14:47

座長 北嶋修司 (佐賀大学)

4. A proposal for sectioning rabbit's heart for analysis of coronary atherosclerosis,
Ahmed Bilal Waqar (山梨大学大学院医学工学総合研究部
分子病理学講座)ら

5. 遺伝性高コレステロール血症(KHC)ウサギにおける中心動脈圧脈波 augmentation
index の加齢変化

勝田新一郎 (福島県立医科大学医学部 細胞統合生理学講座)ら

6. Probucol and statin: Which one is more anti-atherogenic?

A study using WHHLMI rabbits

Shen Li (山梨大学大学院医学工学総合研究部 分子病理学講座)ら

14:50~15:50 【特別講演1】

座長 浅田 祐士郎 (宮崎大学)

宮崎大学TT推進機構・理化学研究所バイオリソースセンター

本々 新

「多能性幹細胞研究をウサギで展開して見えてきたもの」

< tea break 15 分 >

16:05~17:05 【特別講演2】

座長 範 江林 (山梨大学)

中国科学院广州生物医药与健康研究院 幹細胞・動物クローニング研究室
頼 良学

「Generation of CETP Gene Knockout Rabbits Using Zinc Finger Nucleases」

17:10~18:10 一般講演

17:10~17:46

座長 大和田 一雄 (山形大学)

7. 波長 $5.7\mu\text{m}$ 帯量子カスケードレーザーによる低侵襲血管形成術の WHHLMI ウサギ動脈硬化病変を用いた検討

橋村 圭亮 (大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻
量子ビーム応用工学領域)ら

8. 正常カロリーの高脂肪・フルクトース食による WHHLMI ウサギへのメタボリックシンドロームの誘導

Ying Yu (山梨大学大学院医学工学総合研究部 分子病理学講座)ら

9. ヒト C-反応性蛋白遺伝子導入ウサギの骨代謝

西島 和俊 (佐賀大学総合分析実験センター 生物資源開発部門)ら

17:46~18:10

座長 西島 和俊 (佐賀大学)

10. 遺伝性食後高トリグリセリド血症 (PHT) ウサギにおける脂質代謝関連遺伝子の網羅的発現解析

福田 直樹 (山形大学大学院医学系研究科生命環境医科学専攻
分子疫学部門 動物実験医科学講座)ら

11. 糖尿病性動脈硬化血管では低酸素代謝応答が低下している

松浦 祐之介 (宮崎大学 医学部 病理学構造機能病態学分野)

18:10~18:30 総会

19:00~ 懇親会

宮崎観光ホテル西館1階 ガーデンレストラン はな花